

# ふれあい つながり かわら版

## 小中一貫教育全国サミット オンライン開催

11月12日から12月12日まで、小中一貫教育全国サミット in 北広島(北海道)がオンラインで開催されています。内容は、全体会、3つの中学校区による計24本の授業公開、5つの分科会となっております。カリキュラム・マネジメント分科会では東光中ブロックの発表とパネルディスカッションが公開されています。

本サミットは市内教職員の視聴が可能です。東光中ブロックの取組をはじめ、全国の様々な取組が、今後の各ブロックの取組に生かされることを期待しています。

### 東光中ブロックのカリキュラム・マネジメント 「みかつき」の力を育む小中一貫教育



**み** とめあう力 (とめあうちから) ~自分も他者も大切にできる子

**か** かわる力 (かわるちから) ~地域を誇りに思える子

**つ** たえる力 (たえるちから) ~言葉で表現し理解できる子

**き** めたことをやりぬく力 (めたことをやりぬくちから) ~自ら取り組める子

東光中ブロックの発表では、①「めざす児童生徒像の構築と共有」及び②「ブランドカリキュラムの作成と指標をもとにした指導の見直し」を中心に、カリキュラム・マネジメントの展開例が示されました。

①「めざす児童生徒像の構築

姫路市教育委員会  
学校指導課  
小中一貫教育・ICT教育推進係  
(079)221-2120



築と共有」については、ブロックの実態や、これまでの小中一貫教育の取組を整理して小中共通の教育目標を設定し、育みたい資質・能力を「みかつき」の力として表し、児童生徒、教職員、保護者、地域住民との共有を図っていることが紹介されました。

②「ブランドカリキュラムの作成と指標をもとにした指導の見直し」については、すでに作成しているブランドカリキュラムをもとに実践や授業研修会の充実を図ることで「みかつき」の力を育むとともに、達成状況を検証するために、姫路市教職員・児童生徒意識調査を活用した指標を作成していることが紹介されました。

指導助言(北海道教育大学 内山隆教授)では、持続可能な小中一貫教育のカリキュラム・マネジメントの実現のために必要な視点として、「目指す子供像や取組についての理解・共有」、「協働の実践を通じた資質・能力の向上」、「カリキュラムや取組の改善や創造」が示されました。

本市では、令和4年度末を期限に、各ブロックでブランドカリキュラムの作成を進めています。カリキュラム・マネジメントにおいては、カリキュラムを作成すること自体が目的ではなく、その後の実践や検証の過程に全教職員が参画し、絶えず学校教育の質の向上を図ることに本来の目的があります。ブランドカリキュラムを核とした取組を持続可能なものにするため、東光中ブロックをはじめ本分科会の内容が参考になります。

### 育成を目指す資質・能力を検証する

ブランドカリキュラムに基づいた教育活動を推進・充実させていく上で、子供の現状や学びの成果を把握し、改善につなげる仕組みを整えることが大切です。取組による子供の育ちを把握するためには、教師の見取りが大切ですが、アンケート分析などによる定量的な把握も必要です。

アンケート実施の際には、どのような質問項目を設定するかが大切です。留意することは次の2点です。

- ① 育みたい資質・能力に即した質問
- ② (子供にとって) 具体的にわかりやすい質問

質問項目設定の拠り所は、ブランドカリキュラムの「めあて」(※)の項目が適しています。「めあて」は、育みたい資質・能力を学年に応じた具体的な姿で表しているからです。左の図のように3つのステップで「めあて」の文言をもとに質問項目を設定することができますので、参考にしてください。

アンケート質問項目設定の手順 (資質・能力の取組より)

**STEP1 「めあて」をもとに評価する**  
相手の話を自分の意見と比較しながら聞き、自分の考えとその理由を説明することができる。

**STEP2 「めあて」の語尾を疑問形にする**  
相手の話を自分の意見と比較しながら聞き、自分の考えとその理由を説明することができましたか。

**STEP3 必要に応じて子供にわかりやすい表現に修正する**  
相手の話を自分の意見と比べながら聞き、自分の考えとその理由を説明することができましたか。

実施方法としては、Google フォームが集計まで自動計算されるので簡便です。今年度から姫路市教職員・児童生徒意識調査もGoogle フォームで実施します。その中の学校質問項目を活用する方法もありますので今後の参考にしてください。学校評価等で検証結果を取組の改善に生かすことで、PDCAのサイクルがつながり、持続可能な取組となります。

(※)「めあて」など、ブランドカリキュラムの各項目については、かわら版第127号をご覧ください。